

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0194700456), 法人名 (社会福祉法人 三章会), 事業所名 (グループホームえぞりす・花しょうぶが えぞりす), 所在地 (河西郡芽室町東3条1丁目2番地), 自己評価作成日 (平成28年2月4日), 評価結果市町村受理日 (平成28年3月16日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

最寄りの芽室駅へ450mと近く電車も通り、パン屋、消防署、病院と近くにあり、ホーム内の窓からも良く見えます。建物の1階は町の介護予防事業があり、催し物なども有り、お声が掛かり遊びに行き、歌や踊り、マジックショー等行われ皆さん楽しんでます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou\_detail\_2013\_022\_kani=tr ue&JigvosyoCd=0194700134-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室), 訪問調査日 (平成28年2月25日)

平成15年グループホームえぞりす・花しょうぶは、1階に介護予防事業所、隣接でグループホーム2ユニット、その他健康施設と同時に、町の中心部に開設された。安心して生活できる環境で、笑顔の絶えない暮らしを大切にする、と言う理念のもとに、その人らしい生活が出来るよう寄り添いながら、実現に向け支援に努めている。職員は、利用者が持っている残存機能が衰えないよう見守りながら、食事の用意や創作活動に励んだり、排泄、入浴介助に努めている。利用者は自分の役割りを見つけ、取り組みながら、楽しんで生活している様子が伺われる。また、管理者、職員は介護の質の向上を目指し、業務マニュアルの統一や研修を全事業所で取り組んでいる。7ユニット間での交換研修や同日の避難訓練実施等、全体での向上と、特徴を出した創作活動等を行い、独自性を発揮したグループホーム作りを目指している。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and self-evaluation results.

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域でその人らしく生活が出来る様に理念を作り、事務所に掲示し職員全員で実践につなげる為 会議で話し合い、常に取り組んでいます。	事業所理念を玄関、事務室に掲示し、職員はカードにして所持しながら、会議で話し合い、実践に繋げている。また、パンフレットに掲載し、利用者家族に説明し、理解を得ている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	町へ買い物に行ったり、地域の催し物に出掛け交流を深める様に努め、近くに住んでいる知人の方々が気軽に面会に来られる様に配慮を行っています。	町内会に加入し、町の広報紙の配布を毎月受けている他、祭り等の行事に参加している。グループホームの焼き肉会や餅つき等の家族会の時には、近隣に駐車をお願いに伺い、招待をし、相互交流を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方との交流の機会は少なく、事業所の力を活かした地域貢献はこれからの課題として行って行きたいです。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度会議を開催し入居者状況や取り組み等を報告し、参加されたご家族や町内会長、役場の方からの意見等を聞き、職員へ会議などで報告をしてサービス向上に活かせる様に努めています。	運営推進会議は2ヶ月に一度、利用者、家族、町内会役員、町担当者等の出席を得て、利用状況、取組事業報告、地域連携・交流状況報告等を行い、質問意見をj得ている。家族は代表者の出席が主であるが、議事録は全家族に送られ、次回会議日時が記され、都合がつけば出席可能である事を事前にお知らせし、情報共有に努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	中々お会いする機会がないが運営推進会議以外にも電話等で連絡を取り合い協力関係を築く様に心掛けています。	町担当者とは運営推進会議やケアカフェで指導や助言を得たり、報告書提出で訪問して話を伺い、積極的に協力関係を築くよう心掛けています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は研修や講習に参加して、資料は常に目を通せる所に綴り、日々の業務や会議でも話し合い、身体拘束がないケアに取り組んでいます。	系列のグループホーム7ユニットで、マニュアルを統一して業務の均一化図っており、身体拘束についても廃止マニュアルを統一している。フロー会議の中で具体的な行為について話し合いを行い、身体拘束が無いケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は研修や講習会に参加して、常に入居者様の身体・精神的变化に気を配り、何か変化があった場合は職員全員で話し合い、原因究明に努め虐待ゼロを目指しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会等には出来るだけ参加して知識を深め、必要な時はいつでも活用できる様に努めたいです。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際には契約書・重要事項説明書を十分に説明を行い理解・納得をして頂き、一部ずつお渡しています。又 退去時にも不安を取り除く様に努めています。		
10	6 <sup>x</sup>	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様の話には傾聴するように心掛けています。ご家族には面会などの際に職員がお話をする様に努め、都合がつく時には運営推進会議にも出席して頂く。ご意見ご要望があった場合は、運営に反映出来る様に努めています。	利用者とは日常の会話の中で、家族とは面会時や電話連絡の時に把握し、要望があれば検討し、反映させるよう努めている。毎月発行しているスマイル通信に、担当者が日常の様子を記載し、暮らしが解るようにしている。また、本年は家族アンケートを実施して、意見や要望を把握し、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度のフロア会議にて職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映出来る様に努めています。又 普段より意見交換のしやすい職場作りを心掛けています。	月に一度のフロア会議では、職員により、多くの意見や要望が出され、検討しながら反映させている。また、毎月、7ユニットの管理者会議が行われ、業務についてマニュアルの統一など、事業所の質の向上に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者や職員の努力・実績等を把握するように心がけ、負担が掛からないような勤務体制作りを工夫し常に向上心を持って働けるような環境・条件整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務体制の調整を行い、グループホーム勉強会・施設内研修・施設外研修等に積極的に参加出来る様に努めています。参加後には報告書を提出し、会議等で意見交換をして職員の知識・意識の向上に心掛けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同施設内グループホーム交換研修を今年度より実施し、グループホーム内交流を行いました。又 月に一度めぐるカフェに参加し、町内の他事業所との交流を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	出来るだけご本人の生活の場でアセスメントする様に努めています。ご本人からの訴えを見逃さず事なく、お話を聴き不安・要望をしっかり受け止め安心して生活して頂ける様に心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時面接や契約時にご家族の不安や要望をお聞きし、ご協力の中支援を行う様に努めています。又 入居後も面会時や電話などで情報交換をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	これまでの生活歴を把握する為 ご本人とご家族に積極的に対話する様に努め、他サービス利用の必要がある場合は関係機関より情報を収集し、速やかに検討を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中でその人に出来る作業やお手伝いを一緒にする事でコミュニケーションを図りより密接な関係を築ける様に努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	訪問しやすい環境作りに心掛け、面会時には積極的に会話しています。その中でご家族の思いを把握し共に入居者様を支えられる関係作りに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	身近な方が何時でも気軽に訪問しやすい環境作りに心掛けています。又、入居者様からの希望があった場合はご家族の協力を得たりして出来る限り外出の機会を作る様に努めています。	利用者の馴染みの場所は少なくなってきたが、1階のデイサービス利用者の知人の訪問があり、関係が途切れないよう支援している。絵手紙や編み物、習字の趣味を持つ利用者には、続けていけるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆様居間に集まる事が多く、楽しくお話しをしたりレクリエーション等で交流を図っています。不都合が生じた場合は職員が間に入り支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も入院先、施設等へ訪問する様に心掛け、出来る限り相談や支援をさせて頂く様に努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、ご本人の希望や意向を把握する様に努め、安全で安心した生活を送れる様に心掛けています。	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の意向は、日常の会話の中で把握し、本人が望んでいた暮らし方になるよう検討している。食事や外出、趣味の継続等希望に沿った暮らしの実現に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族からお話を伺い必要時には関係機関からの情報提供して頂き、支援に活かせる様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々現状把握に努めて出来る力は積極的に行って頂き、変化があれば生活記録や連絡ノートにて職員全体に周知、把握できる様に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族のご要望を基にカンファレンスにて各担当者、関係者で意見交換を行い、その都度モニタリングを行い現状に即した介護計画を作成しています。	介護計画は基本的に6ヶ月毎に、ケース検討やモニタリングを行い、利用者、家族の希望を取り入れ、現状に即したサービス提供が出来るよう支援している。職員は介護計画を把握しながら、プラン番号で生活記録をつけ、介護計画見直しに繋げている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	管理日誌、生活記録に日々の状況を記録し職員間は連絡ノートを用いて常に新しい情報を共有出来る様に努め、ケアの実践や介護計画の見直しに役立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況に応じたご本人、ご家族のニーズに対応出来る様に必要時には本体の老健の関係者へ相談を行い、意見を頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握に努め、入居者様が安全で安心して豊かな生活を楽しめる様に支援させて頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隔週でホーム主治医に往診して頂き継続的な医療を提供しています。専門医受診の場合は主治医に紹介状を書いて頂き対応しています。	月2回協力医の往診があり、適切な医療が受けられる様支援すると共に、週2回法人の担当看護師により健康管理が行われている。他科への受診は家族対応で行っており、日頃の様子を書いた手紙を持参して頂き、家族と情報共有に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム担当看護師に気になる点、変化があった場合には直ぐに相談して入居者様の健康管理に適切な対応が出来る様に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際にはその方の日常生活、注意する点等を記入した資料をお渡ししています。入院中もご家族、病院関係者と連絡を密に取り退院後も安心した生活が出来る様に支援しています。又、町のケアカフェでの集まりでは積極的に情報交換を行う様に心掛けています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に事前指定書を用いてご本人、ご家族のご希望をお伺いし、必要時には主治医、ご家族、関係者で早い段階から十分に話し合いをし方向性を共有する様に努めています。	入居時に「重度化した場合における(看取り)指針」を説明し、事前指定書であらかじめ意向の把握を行っている。必要時には再度家族と話し合いの機会を持ち、意向に沿った支援に取り組んでいる。統括部長により職員研修を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修会等に積極的に参加をする様に心掛け、又 日々自己学習にて実践力を身につけ急変や事故対応に早急に対処出来るよう努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	入居者様参加の避難訓練を年に2回は実施しています。町内会の方にも参加をして頂き協力体制を築く努力をしています。又今後 内容の濃い訓練も行いたいと思います。	年2回、火災避難訓練を日中・夜間想定で、消防署、町内会住民の協力のもと実施している。今年度、7ユニット共通のマニュアルを作成し災害に備えている。	地域住民の協力を得た連絡網の整備や避難路、避難手順の再確認、停電時の寒さ対策等、更なる対策強化を期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に入居者様一人一人の人格を尊重し思いやりのある対応を心掛けています。	管理者、職員は利用者の尊厳を尊重した対応を心掛け、呼び掛けはさん付を基本としている。記録の保管は鍵のかかるロッカーに適切に保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己表現をされない方もいらっしゃいますがご本人の思いをくみ取る努力をし出来る限り自己決定をして頂くよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を優先する事なく、一人ひとりの表情や様子を観察しながら、その方のペースを大切にし希望に添った支援をする様に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を活用しその方の希望される身だしなみが出来る様支援しています。着る服と一緒に選び着て頂いたり、時には一緒に衣類を購入しに出掛ける支援も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の有する力に合わせ食事準備、片付け等と一緒にしている。献立も入居者様の希望を伺い作成する様に心掛けています。	職員が一週間毎に利用者の好みを反映した献立を作成しており、年2回は法人の老人保健施設の栄養士に確認してもらい、アドバイスを得ている。誕生日には好みのメニューにしたり、食器や盛り付けを工夫したり、外食に出掛けたりと、食事が楽しくなる様支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事形態を把握し適切な食量、栄養バランス、水分摂取量が確保出来るよう支援しています。年2回は本体老健の栄養士にメニューを見て頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを支援しており、その方の力に応じ職員が支援を行っています。又 必要な方には定期的に歯科医師に往診して頂き処置をお願いしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し自立支援を行っています。又 尿意を感じる事が難しくなってきたり、意思表示が困難な方には時間ごとに声掛けを行いトイレ誘導を行っています。	利用者一人ひとりの排泄記録を付け、パターンを把握して、間隔や本人の状態、意思表示により声掛け等で誘導を行い、出来るだけ、自立した排泄が出来るよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表を用い排便チェックを行い、予防として野菜中心の献立作り、おやつ内容、水分量にも気を配り、ラジオ体操など適度な運動もして頂くよう支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	状況により時間帯を決めている方もいらっしゃいますが、ご本人の意向、体調、希望等を考慮し気持ち良く入浴して頂ける様に支援しています。	基本的に週2回から3回、本人の状態や状況を考慮して、入浴が出来るよう取り組んでいる。入浴剤を使い雰囲気を作ったり、時には老人保健施設の温泉「りらく温泉」を利用して、楽しい入浴が出来るよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣に合わせて休息をして頂いている。又 日中適度な運動やレクリエーションに参加して頂き、夜間良眠が出来る様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は処方箋を確認し服薬について理解、把握をする様に努めています。変更があった場合は直ぐに伝達し症状の変化については常に確認を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節、天候が良ければ散歩や行事を企画し外出して頂いています。又 日々その方の好む作業や遊びを提供し役割のある生活を送って頂ける様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節によるが散歩をしたり、ドライブがてらアイスを食べに行ったり、花見や紅葉狩り、地域のイベント、外食へも出掛けています。ご家族とも気軽に外出をして頂いています。	日常的には、近隣を散歩したり、前のベンチで外気浴をして楽しんでいる。散歩の途中に近所の住民から声を掛けられ、話をする事もある。季節の花見や紅葉見物、近隣の庁舎展望台で見物し、食事を楽しむ等、バラエティに富んだ外出で、気分転換を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人ご家族と相談の上ホームでお預かりし管理させて頂いています。購入したい物がある場合は職員が代行したり、一緒に買い物へ出掛けています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書く機会はなかなかありませんが、ご本人の希望にてキーパーソン様に電話を掛けたり、ご家族や知人の方から電話が掛かって来たりしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンで光の調整をしたり、生活の場が不快にならない様十分に配慮し家庭的で落ち着いた空間作りに努めています。又 入居者様と季節ごとの創作物を作成し展示しています。廊下には外出、行事等の写真を掲示し入居者様、ご家族に楽しんで頂いています。	居間、食堂は広く配置され、天井には温熱板が設置され、暖房となっている。温湿度計が設置され、職員により快適になる様管理されている。壁には季節毎の創作物や行事の写真が貼られ、楽しく居心地良く暮らせる様工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆様居間で過ごされる事が多く自然と居場所も決まっている様子。皆様でお話をしたり居室で過ごされたりと個々にご自分のペースで過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの物をお持ち頂く様にお話しています。入居者様一人ひとりが使用し易い様それぞれの物の配置も違い、ご本人、ご家族と相談をしながら居心地良く過ごせる様工夫をしています。	居室には洗面台、クローゼットが設置され、利用者の使い慣れた筆筒や椅子等の家具を配置したり、家族の写真や絵が飾られ、居心地良く暮らせる様工夫されている。ベット、寝具、シーツ等は、利用が決まればすぐ使えるよう、事業所で用意している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、居室の場所が分かりやすい様に札を付け目につきやすい高さや位置にも工夫しています。車椅子の方にも手すりを活用し自立支援を行っています。		